

祭りに託す、東北の心意気

東北各地が開催に向け始動



東日本大震災の発生から1カ月以上が過ぎた。いまだベントや祭りの中止を伝えるニュースが飛び交う中、東北各地で「伝統の祭りを行うことで、復興に向けた意気込みを発信したい」「被災地に元気を届けたい」との声が高まっている。被災地で早くから祭りの開催への動きを見せたのは、宮城県石巻市。大規模な打ち上げ花火で知られる「石巻川開き祭り」(8月1、2日)の開催を1日に発表した。「第1には『鎮魂』だが、開催することで復興につなげたい」と石巻商工会議所このほか青森県青森市の鹿内博市長が13日、

宮城県仙台市の奥山恵美子市長と青森ねぶた祭り、仙台七夕まつりの連携について申し合わせたことを明らかにするなど、各地で開催に向けた動きが進む。一方で原発問題などの影響から、開催は未定だが、「今月中には正式決定したいし、(祭りを)やりたいという気持が強い」(福島県・福島市、福島わらじまつりの事務局)という地域もある。地域の文化・生業に根差した祭りへの、東北の人々の思いは強い。復興への動きの中、開催へ動き出した東北の祭りを紹介する。【小林茉莉】

鎮魂、復興、さまざまな思い込め

仙台七夕まつり(宮城県仙台市、8月6～8日)

※写真提供・宮城県観光課



石巻川開き祭り(宮城県石巻市、8月1、2日)

※写真提供・宮城県観光課

青森ねぶた祭り(青森県青森市、8月2～7日)



山形花笠まつり(山形県山形市、8月5～7日)



福島わらじ祭り(8月上旬)

※日程・内容は調整中



チャグチャグ馬コ(岩手県滝沢村、6月11日)



盛岡さんさ踊り(岩手県盛岡市、8月1～4日)



秋田竿燈まつり(秋田県秋田市、8月3～6日)